

民友クラブ・行政視察報告書

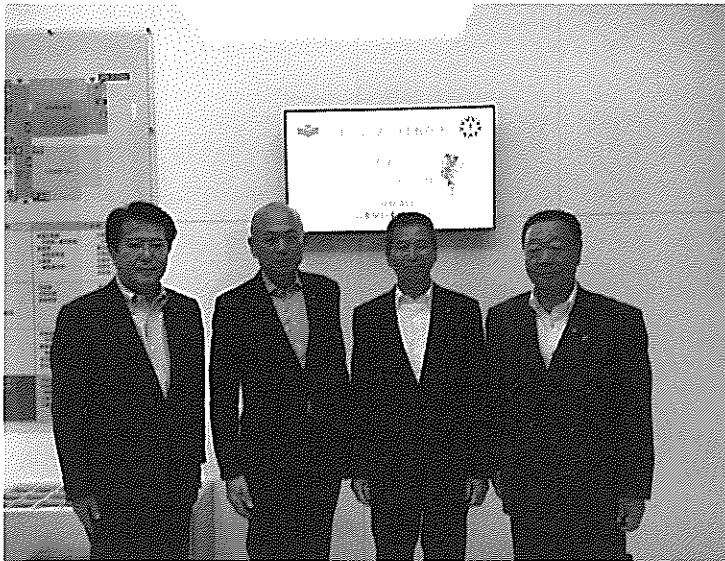
神谷文明

平成 30 年 5 月 14 日(月)～16 日 (水)

視察先 広島県呉市

5 月 14 日 (月)

・【呉市公園屋台事業について】



概要

呉市は全国で唯一、行政が公園敷地内を使用して上水道・下水道・電気・ガス・屋台の収納場所を整備し条例も制定し観光振興目的に屋台の営業を許可し運営している。現在約 10 軒の屋台が営業し、定期的に公募によって新規出店者を募集している。

目的

呉市の例を今まで 2 回一般質問で取り上げているが、実際に自らの目で見て感じて知立駅周辺整備事業への政策提言に役立てたい。

所感

官庁街と歓楽街の中間に位置し、公園の一部を街路として使用しているため、道路占用許可の心配もない。公園内にはトイレの整備も行われているので、衛生面もクリアできている。一般質問で事例を示して政策提言していきたい。

視察先 福岡県大牟田市

5月15日(火)

【シティプロモーション事業について】



概要

かつて三池炭鉱で栄えた大牟田市も炭鉱の閉山、近年では県内の集住地区である福岡市に転出超過で、シティプロモーション事業を行うことにより人口減少を転換するため、転出を抑制し若い世代に転入してもらう施策を行っている。

目的

知立市も「ちりゆび」を用いたシティプロモーションを行っているが、本格的な人口減少が起こっている大牟田市の事業を勉強することにより政策提言の一助としたい。

所感

明治以降の歴史と伝統を感じる市であった。ゆるキャラの「ジャー坊」を用いたシティプロモーションを行っている。人口ビジョンでは知立市と異なり10代の転出超過で就職や進学で転出してから戻ってこないケースが多い。

転入者のターゲットイメージを明確に設定し、福岡県と熊本県の県境に位置する利点を発揮して定住・移住・交流人口の増加を図っている点などは大変参考になった。

視察先 福岡県太宰府市

5月16日(水)

【景観計画事業について】



概要

全国的に有名な太宰府天満宮を有する太宰府市は、太宰府市景観計画を策定し、統一感を持った古い町並みを保全し、近年では世界から来訪する観光客を取り込むことに成功している。また、市内に古代より点在している文化財、遺跡等も有効に活用している。

目的

知立市も歴史と伝統のある町であるが、景観計画をつくる事によって観光客、交流人口の増加をどの様に図っているかを学びこれからの一助としたい。

所感

景観資源を認識し、保全・活用する。周辺環境との調和を図るなど明確なコンセプトの下に市民の協力を得て事業を推進していると感じた。15年程まえに、訪問した時とは大きく変貌していて大変驚いた。景観を観光資源と考えて補助金に頼ることなく協力し共に観光客数を増やし、それによって市全体の繁栄を図っていこうとする市民や商業者の心意気を感じたし、そうならなければこの事業は成功しないと痛切に感じた。